

このニュースレターは、国土交通省が提案している羽田空港の国際線増便について、地域の皆さまとのコミュニケーションの状況を広くお知らせするために発行しています。

「羽田空港のこれから」について議論が始まっています。

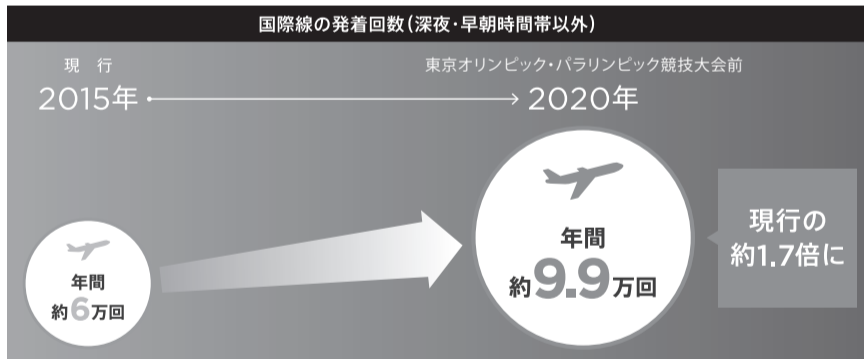
人口減少や少子高齢化が進む中、豊かな暮らしを将来の世代に引き継ぐためには、諸外国との結びつきをより一層深めていくことが課題となっています。急速なグローバル化に伴い、私たちの経済・社会を維持・発展させていくためには、国際社会との結びつきはより重要となります。グローバル化した世界において、航空は、観光やビジネスだけではなく、日常生活にも欠かせない存在となっています。しかし、現状を見ると、日本は成長著しいアジア諸国と比べ、海外との往来が少ないのが実情です。このため、諸外国との往来を支える国際空港、特に国際線の需要が集中する羽田空港・成田空港の機能強化が急務です。

新たな飛行経路（右図）の提案など、羽田空港の機能強化（国際線の増便）のための方策について、その具体化に向けた「双方向の対話」の取り組みが始まっています。

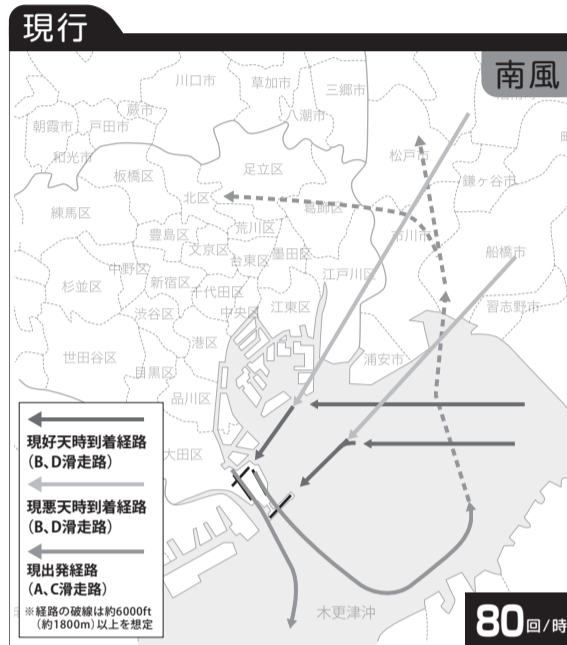
本年7月から9月にかけて開催された説明会は、羽田空港の国際線増便の必要性や実現方策について、できる限り多くの方に知っていただくとともに、住民の方々のご意見、ご質問、ご懸念等をできる限り丁寧にお伺いするため、オープンハウス型により開催されました。

また、説明会とあわせて、特設ホームページや電話窓口、ニュースレターなど多様な手法による幅広い情報提供、ご意見の聴取も行われてきました。

▼国際線増便の効果(試算)について

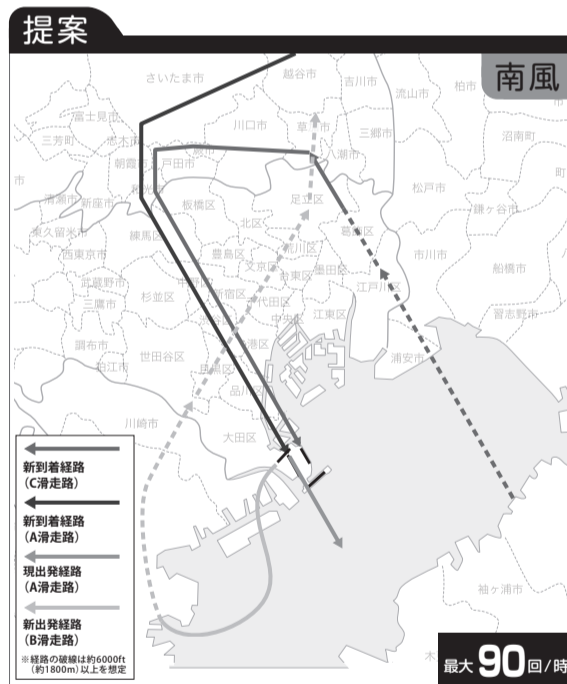


▼提案している飛行経路について



15:00～19:00の時間帯については

6:00～10:30及び15:00～19:00の時間帯については



多くのご意見が寄せられました。

これまでの「双方向の対話」の取り組みを通じて寄せられた様々なご意見は、内容に応じて整理・分類、とりまとめられたのち、近日中に国土交通省ホームページにて公表される予定です。今回お届けするニュースレターでは、まだ今回の提案をご

存じでない方や説明会に参加できなかった方も含め、地域の皆さまに、寄せられたご意見の内容を急ぎ共有させていただくため、9月までに寄せられたご意見について整理された意見要旨(案)をご紹介します。

多くのご意見をありがとうございます！

国土交通省からのメッセージ

国土交通省では、国際線需要の今後の増加に備え、羽田空港や成田空港の機能強化に取り組んでいるところです。羽田空港における機能強化（国際線の増便）の実現方策の検討に際し、住民の皆さまとの双方向の対話を進めており、多くの皆さまにご参加いただき、数多くのご

見をお寄せいただきましたこと、深く御礼申し上げます。

今後、ご指摘いただいた諸課題にこたえるべく、機能強化の実現方策の根拠や進め方などについて詳しくご説明するとともに、皆さまのご懸念を踏まえ、具体的な対策を検討する予定です。

その際、引き続き皆さまとの双方向の対話を進める所存ですので、これまで以上にご関心をお寄せいただき、対話の場にも多くの皆さまにご参加いただければ幸いです。今後とも、よろしくお願いたします。

皆さまから寄せられたご意見 ～意見要旨(案)※～

※9月までに整理された意見要旨(案)です。

必要性は分かるけど、実現方策についてはいろいろな心配があるようだね



1. 羽田空港国際線増便の必要性と実現方策

羽田空港国際線増便の必要性

【国際競争力の強化】

- 国際競争力の向上やグローバル化に向けて、羽田空港の機能強化に期待している。
- 国際ハブ空港を目指して発展して欲しい。

【経済活性化、ビジネス機会、就労機会】

- 経済発展のためには羽田空港の機能強化は必要だと思う。
- 住民の生活よりも経済を優先させる計画には納得がいかない。
- 羽田空港の国際線が充実することで、ビジネスの機会が創出されることを期待している。
- 海外からの投資や企業誘致、日本企業の海外展開などを期待している。

【地方活性化、ビジネス機会、就労機会】

- 首都圏だけでなく地方の活性化のために、羽田空港の機能強化は重要だ。
- 利便性が上がっても、羽田空港周辺の地域にはメリットが感じられない。
- 地方活性化を目指すのならば、直接地方空港を活用すべきではないか。

【観光、インバウンド】

- 訪日旅行者数の増加が期待できる。
- 訪日旅行者数の増加に対応するため羽田空港の機能強化は必要。
- 訪日旅行者数の動向にはリスクがある。需要や伸びを過剰に見積もっているのではないか。

【学術・文化の振興】

- 海外との文化や芸術などの交流機会が増える。

【海外渡航の利便性(アウトバウンド)】

- 海外への渡航がより便利になり、海外旅行等の機会が増える。
- 羽田空港からの就航都市を増やしてほしい。

【オリンピック・パラリンピックとの関連】

- 東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて機能強化は重要である。
- 東京オリンピック・パラリンピック大会を理由に機能強化することは疑問である。
- 増便するのは東京オリンピック・パラリンピック大会期間限定にしてほしい。

【人口減少】

- 人口が減少し需要が下がっていくのに、増便をする意味があるのか疑問だ。
- 人口減少時代を迎え、外国との人の往来を増やすことは重要だ。

【成田空港との連携・住み分け】

- 羽田空港だけでなく、成田空港の機能強化も検討してほしい。
- 羽田空港の機能を強化しなくても、成田空港をもっと活用(アクセス改善含む)すれば十分ではないか。
- 羽田空港と成田空港との機能分担を踏まえた検討が必要ではないか。
- 羽田空港と成田空港とが一体化した運用を考えた上で、機能強化を検討する必要がある。
- 成田空港と連携するため、羽田-成田間の交通アクセスを良くしてほしい。

【他空港との連携、機能分散等】

- 羽田空港の機能強化と同時に、他の空港の活用や連携も考える必要がある。
- 羽田空港は既に過密状態で、これ以上の発着回数の増加は難しいのではないかと。
- 羽田空港に集中させるよりも、茨城空港や静岡空港など周辺の地方空港を活用してほしい。
- 人口密集地を飛行しない空港を積極的に強化すべきではないか。

【今回提案以上の機能強化】

- 将来的には今回の提案以上に便数を増やし、さらなる機能強化をはかってほしい。
- 深夜・早朝時間帯などもさらに活用してほしい。
- 将来的には新飛行経路の運用時間帯が拡大されたり、発着回数や新たな飛行経路が増えるのではないかと不安である。
- 飛行経路や滑走路運用の将来の見直しや改善方策を教えてください。

【その他】

- 機能強化だけでなく、規制緩和などにも取り組まないと、発展には結びつかないのではないかと。

羽田空港国際線増便の実現方策

【飛行経路・滑走路運用・空域等の変更】

- 新飛行経路案以外の経路はないのか。
- 新飛行経路の提案背景や理由について、納得のいくよう、より詳しく教えてください。
- できるだけ地域への影響を小さくするような実現方策の検討、配慮をお願いしたい。
- 南風案1と言われる技術的選択肢の方が望ましいのではないかと。
- 飛行経路から外れて飛ばないかと心配だ。
- 提案された滑走路の運用は、滑走路上での交錯ポイントが減っており、安全だ。
- 再拡張事業で整備したD滑走路をもっと活用すべき。
- 新飛行経路の検討において、横田空域の影響を受けているのではないかと。空域の変更や拡大などにより、多様な経路が検討できるのではないかと。

- 他の時間帯を活用すれば、新飛行経路を使わなくてもよいのではないかと。

- 搭乗率を上げれば、新飛行経路を使わなくてもよいのではないかと。
- 事業費をかけずに増便が可能な新飛行経路での機能強化は良いと思う。

【滑走路増設、新空港建設】

- 羽田空港の機能を更に強化するには、新たな滑走路の整備が必要ではないかと。
- 滑走路を増設すれば、飛行経路の見直しは不要ではないかと。
- 長期的な視点から考えると、時間やお金をかけても新しい空港を整備したほうが良いのではないかと。

【国際線と国内線の枠のバランス】

- 需要に応じて国内線と国際線とのバランスをとっていくことが重要。
- 国内線の便数も増やしてほしい。
- 国内線の便数を減らして、それで国際線を増やせばよいのではないかと。

【新幹線や船舶など他の交通モード活用による機能分散】

- 国内移動は飛行機だけでなく新幹線、船舶などの他の交通手段を活用して、分担すれば良いのではないかと。

【横田基地等の活用】

- 横田や厚木などの基地を活用するなどの方法は考えられないのか。

【その他】

- いきなり9.9万回まで増やすのではなく、段階的に増やしても良いのでは。

提案方策に関わる心配、懸念

【音】

- 朝早い時間や夜遅い時間の発着による騒音が心配だ。
- どれくらいの騒音が生じるのか気になる。
- 住宅地やオフィス街を飛行するので、騒音影響が心配だ。
- 学校や医療機関への騒音の影響が心配だ。
- 騒音被害による動植物への影響が心配だ。
- 病人や乳幼児等の睡眠への影響が心配だ。
- 今までなかった騒音が発生し、生活環境が大きく変わるのではないかと心配だ。
- 高速道路や飛行機などによる現状の騒音に、新飛行経路による飛行機の騒音加わることで生活環境が更に悪化するのではないかと。
- 新飛行経路を飛行する頻度が多いのが気になる。
- 騒音などの影響はある程度はやむを得ないのではないかと。
- 昼間の時間帯ということであれば、騒音の影響はあまり気にならないのではないかと。
- 今回の提案によって、現飛行経路の騒音がどう変わっていくのか知りたい。
- 騒音の範囲や想定値を、詳細に示してほしい。

【その他の環境影響】

- 発着回数の増加による大気汚染や自然環境の悪化が心配だ。
- CO₂が増加し、地球温暖化への影響があることが心配だ。

【安全(事故、落下物等)】

- 新飛行経路は人の多い街中や住宅地を飛行するので、事故によるリスクが高いのではないかと。
- 人の移動が多いラッシュ時に街中を飛行するので、事故によるリ

スクが高まるのではないかと。

- 住宅地に飛行機が墜落する事故が起こるのではないかと心配だ。
- 旅客機の飛行により、小型機やヘリの飛行に制約が生じ、墜落事故が起きるのではないかと心配だ。
- 工業地帯の上を通過するのはリスクが大きいのではないかと。
- 野鳥や渡り鳥などによりバードストライクが起きないかと心配だ。
- 増便や時間帯により経路を切り替えることで管制官の負担が増し、安全面への影響が出ないかと心配だ。
- パイロット不足により安全運航に影響が出ないかと心配だ。
- 悪天候時や自然災害時などの安全確保が心配だ。
- 国際線の増便は必要だと思うが、騒音や安全性に対する懸念が残っている。
- 安全確保や騒音対策が講じられるので、新飛行経路になっても心配はしていない。
- 飛行機からの落下物により被害が生じないかと心配だ。

【漠然とした不安】

- 飛行機が低空を通過することに、圧迫感や不安を感じる。

【不動産価値への影響】

- 住環境が悪化することで不動産の価値が下がったり、入居者が減少することを懸念している。
- 人口減少社会の中で、不動産価値を維持するためには、交流人口を増加させる羽田空港の国際線増便が重要だ。
- 風評被害が懸念される。

【関連施設の混雑】

- 国際線が増便されても国際線ターミナル施設や空港設備が拡張されないと、混雑や機能低下が懸念される。
- 増便により、定時運航に影響があるのではないかと。
- 空港ターミナルの駐車場不足が心配だ。

【その他】

- 航空機による振動が心配だ。
- 通信や電波障害などが心配だ。
- 健康影響が心配だ。
- 人の往来が増えることによる治安の悪化が心配だ。
- 人の往来が増えることで、伝染病などのリスクが心配だ。
- 飛行機がテロの標的とならないかと心配だ。
- 軍事施設の上空・空域を飛行することは問題とならないかと。
- ヘリコプターの運用などに影響はあるのか。
- 以前と比較してゴーアウンドの割合が増え、回数自体も増えているので、危険性が増してきているのではないかと。

賛否のみの意見(必要性、実現方策)

- 羽田空港の機能を強化し、国際線を増便することに期待する。
- 安全や騒音に気をつけながら、国際線の増便を行ってほしい。
- 積極的に賛成なわけではないが、機能強化はやむを得ないと思う。
- 羽田空港の機能を強化する必要性が理解できない。
- メリットに比べてデメリットのほうが大きいのではないかと。
- この提案でも国際線はそこまで増えない。根本的な解決にならない。
- 提案された飛行経路には反対だ。
- これまで沖合展開などで騒音軽減を図ってきた歴史に逆行するのではないかと。
- まだ影響が実感できていないので、良いとも悪いとも判断つきかねる。

いろいろな心配ごとを受け止めた上でフェーズ2でも引き続き議論が深められていくのね!





2. 課題への対応方策（対策や運用方法の工夫等）

運用方法に関すること

【発着便数、運用時間】

- 北風時新飛行経路の朝の運用は、もっと遅い時間からにしてほしい。
- 新飛行経路の午後の運用は夕方限定し、夜遅くまで運用するのはやめてほしい。
- 新飛行経路の運用時間を短くしてほしい。
- 新飛行経路の運用時間を厳守してほしい。
- 新飛行経路の運航便数が多すぎるので、できる限り減らしてほしい。

【飛行経路】

- 騒音や安全性を考えれば、人口密度がより低い地域や、防音対策が実施済みの地域を飛行経路とすべき。
- 飛行経路のプレを少なくしてほしい。
- 南風時北方面からの新到着経路はもう少し北に移せるのではないか。
- 飛行経路の設定・運用に当たっては、騒音負担の公平性を考慮してほしい。

【高度、角度】

- 街中や住宅地上空の低空飛行に伴う騒音影響や不安を少しでも解消してほしい。
- 飛行高度や進入角度を少しでも変えられないのか検討してほしい。

【その他】

- 現在の滑走路の向きや配置を見直せないか。
- 陸上を避ける飛行経路とするための新しい技術を検討できないか。

環境上の方策、その他の周辺対策に関すること

【騒音対策、その他の周辺対策】

- 騒音への対策をしっかりとしてほしい。
- 騒音の状況に応じて、防音サッシの設置などによる防音工事をしてほしい。
- オフィス等についても騒音対策をしてほしい。
- 騒音による学校活動や病院などの医療活動への影響に配慮してほしい。
- 現在の制度にとらわれず、柔軟な運用で環境対策を行ってほしい。
- 新飛行経路による健康被害や経済的負担について補償してほしい。
- 同じ地域内で防音工事や補償がされる人とされない人がいると不公平感が生まれ、地域が分断されてしまうのが心配だ。
- 騒音などの影響により、地域が衰退しないように地域振興対策を検討してほしい。

- 現在住んでいるところから引越しをする際には、移転補償を行ってほしい。
- 不動産価値が低下した場合、補償をしてほしい。
- これまで既に騒音対策をしてきた地域に対しても、更なる対策の強化や補助をお願いしたい。
- 対策に税金を使うのではなく、増便による受益者や利用者に負担を求め、しっかりと対策を行ってほしい。

【機体】

- 飛行機から発生する騒音をより小さく抑える方策を検討してほしい。
- 大型機体の制限による騒音の抑制を検討してほしい。
- より新しく静かな機体の導入を進めてほしい。

【現飛行経路の騒音対策】

- 現飛行経路の騒音対策がなされないまま、新飛行経路が計画されるのは納得がいかない。
- 現飛行経路の騒音対策を更に講じてほしい。
- 現飛行経路について、夜間の騒音負担を減らしてほしい。将来的な海上ルートの活用についても中期的な検討に取り組んでほしい。
- 現飛行経路（特に悪天時飛行経路）について、緊急時の23時以降の到着をできるだけ少なくしてほしい。
- 富津沖ルートの変更使用率向上を図ってほしい。
- 北風早朝時のA滑走路北向き離陸左旋回は早期に廃止すべき。

【その他】

- 深夜早朝など、羽田空港から離発着するヘリコプターの騒音を軽減してほしい。
- ヘリコプターや軍用機などの騒音が大きい。安全性も心配だ。

安全上の方策に関すること

【安全対策の確実な実施】

- 万が一の事故もないよう、安全基準や運用の徹底をお願いしたい。
- 事故が起きないように、万全の対策を講じてほしい。
- 【各分野の安全対策（機体、航空従事者、管制・空港など）】
- 機体整備やパイロットの定期的なチェックをより厳しくする必要がある。
- 外国の航空会社に対しても、国内航空会社と同等の安全監督を実施してほしい。
- 基準を満たさない外国の航空会社などは乗り入れを制限してほしい。
- 発着回数の増加に対応できるよう管制機能を強化する必要がある。
- 安全性の向上のために、パイロットや管制官等の教育や心身の健

3. 進め方（全体）

検討の進め方（動機、計画期間、決定主体等）

【提案の動機】

- 羽田空港の機能強化を検討することになった背景を更に詳しく教えてほしい。
- 羽田空港はハブ空港を目指していくのかどうか、今後の方向性を示してほしい。

【計画期間】

- 東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年以降の方策についても、早期に議論を開始してほしい。

【検討期間、計画決定時期】

- 新飛行経路の開始時期はいつか。
- 新飛行経路が決定するのはいつか。
- 飛ばすことを決める前にこういう説明会をやるのは大変良い。
- 計画検討に時間をかけ過ぎではないか。早く実施し、羽田をより便利にしてほしい。
- 計画の検討にもっと時間をかけるべきではないか。

【決定主体】

- 最終的な決定主体をより明確に示してほしい。
- 国が決定するのではなく、住民が投票などにより決定すべきではないか。

【どこまで決まっているのか】

- 提案は既に決定した事項か。経路の変更はあり得るのか。

【その他】

- 調布での事故の直後に、このような説明会を行うことの常識を疑う。

検討の進め方（プロセス）

【透明性】

- 結論ありきではなく、多様な意見を聴いて判断してほしい。
- 意見や主な質問に対する回答は、ホームページ等で公表し、幅広く共有してほしい。
- 検討内容や住民対話の進捗状況について積極的に公表してほしい。

【公正性】

- メリットとデメリットの両面について、客観的で公正性のある情報を示してほしい。

【受益と負担、公益性等のバランス】

- 国全体の利益に加え、日常生活に影響のある人のことも考えて、慎重に検討を進めてほしい。
- メリットを享受する人、負担を負う人など、様々な立場があるので、多様な関係者による討議の場があると良い。
- 飛行経路下の住民ばかりが負担を負うのは不公平だ。
- 飛行経路をできるだけ分散させて、特定の地域のみが負担を負わ

- ないようしてほしい。
- 多くの人が負担を強いられる一方で、国際線増便のメリットは一部のみにしか及ばないのではないか。
- これまで既に飛行機の騒音に悩まされてきた地区の住民に、更に負担を強いるのは問題だ。
- 【合理性】
- 増便に伴うコストと便益を比較して説明してほしい。
- 複数案をどのように比較して現在の提案内容になったのか、検討過程をより詳しく示してほしい。
- 現場のパイロットや管制官の意見も参考にすることがよい。
- 航空のプロがしっかりと考えた上で、最善の案を採用してほしい。

コミュニケーション方法

【周知】

- 今回の提案について、もっと多くの人に周知すべきである。
- インターネットや広報紙、メディアの活用など、様々な手段を使い、説明会の周知を図る工夫が必要ではないか。
- 説明会の日程や時間、場所などの情報は、早めに周知してほしい。
- 検討内容を、より多くの人に理解できるように努めてほしい。

【説明会の開催場所・日時・回数】

- よりきめ細かく開催してほしい。影響があるのに説明会が近隣で開催されない地区がある。
- よりアクセスが良く、よりスペースが広い会場で開催してほしい。
- 説明会の回数をより多く、土日の開催も充実してほしい。

【意見の反映】

- 住民の意見をしっかりと聞き、反映してほしい。
- 説明会や意見収集等は、アリバイ作りではないのか。そのようなことではいけない。
- パネル展示やアンケートだけでは、意見が反映されるかどうかかわからない。

【説明や対話の手法】

- 機能強化の必要性や実現方策が理解でき、意見や質問が個別に言えるので、この様な説明会が開催されるのは良いことだ。
- より多くの市民から、それぞれの多様な意見を聞いてもらえるので、良い説明会形式だと思う。
- 丁寧に住民説明、意見聴取を行い、不安の払拭に努めてほしい。
- 住民間で意見共有がしにくい。集会型、教室型の説明会も開催してほしい。
- パネル展示型の説明会だけではなく、多様なコミュニケーション方法での対話等を更に充実してほしい。

【その他】

- 職員の対応が丁寧で良かった。

- 健康検査を徹底してほしい。
- より安全で安心できる空港運用を行ってほしい。
- 落下物対策をしっかりと行ってほしい。
- 【万が一の場合の対応】
- 事故・トラブルが発生した場合にどう対処するのか、被害を最小限にできるようにしてほしい。
- 事故が起きた場合の責任の所在を明確にしてほしい。
- 万が一の事故の場合の補償について、前もって示してほしい。
- 万が一落下物により被害を受けた場合の対応や補償はどうなるのか。
- 【保安対策等】
- テロ対策を強化する必要がある。
- 海外からの来訪者が増えることで治安が悪化しないよう、対策をしっかりと行ってほしい。

その他の方策に関すること

【モニタリング・飛行情報】

- 時間帯や場所を考慮して騒音を測定し、生活への影響を十分に調査してほしい。
- 飛行状況をしっかりとモニタリングし、高度やルートを守るようにしてほしい。
- 新飛行経路運用開始後も継続的なモニタリングをして、環境の変化を調査してほしい。
- 普段見慣れない場所を飛行機が飛ぶことがあるが、なぜ飛んでいるのかかわからない。既に試験飛行を行っているのではないか。
- 飛行経路や運用情報をHP等でわかりやすく示してほしい。

【相談・情報窓口】

- 騒音等についての苦情や問い合わせのためのわかりやすい窓口を設けてほしい。

【周辺環境、空港アクセス等の整備】

- 機能強化とともに、宿泊施設や交通インフラ、国際交流拠点等を整備するなど、周辺のまちづくりを進めてほしい。
- 深夜・早朝時をはじめ、羽田空港のアクセス充実に取り組んでほしい。
- 空港ターミナルやサービスの充実、24時間化を進めてほしい。
- 海外からの人や投資の受け入れに備え、ソフト・ハード両面からホスピタリティを高めてほしい。

さらなる情報提供の上で議論が深められていくことが望ましいね



- 第3フェーズが必要ではないか。

情報提供

【更なる情報提供】

- 機能強化における新飛行経路の必要性を詳しく説明することが重要である。
- 新飛行経路及び現飛行経路に関するより詳しい情報がほしい。
- 新飛行経路がどこを通るのかより詳細に教えてほしい。
- 騒音や安全対策などの説明を更に充実してほしい。
- 天候や風向きによる運用変更や飛行回数などの詳細な情報がほしい。
- 安全性に対する不安を払拭できるようなデータを示してほしい。
- 説明資料で示されているデータの算出根拠を教えてください。
- 事故発生や被害想定などリスクに関するデータを教えてください。
- 都市上空を飛行経路とする他都市の事例を飛行状況や周辺対策などを含めて教えてください。
- 空港周辺でのライフインベション関連研究施設やコンビナート関係者に対し引き続き情報提供してほしい。
- 機能強化にかかる費用などを教えてください。
- 環境影響に関する情報を教えてください。たとえば、環境影響調査や環境アセスメントなどを示してほしい。

【わかりやすさ】

- 住民にとってわかりやすい情報提供を心がけてほしい。
- 音や高度などについて、もっと細かい地域別の詳細情報があると良い。
- 説明内容がよくわかった。理解できた。

【表現方法の工夫（音や映像等による再現など）】

- 実際の音の大きさが数値だけではわからないので、飛行機の音やそれに近いものを体感できるようにしてほしい。
- 地上からの飛行機の見え方が映像などでわかるといい。
- 実際に音を体験できるようにしてほしい。できるなら試験飛行をしてほしい。
- 説明資料は、表現や文字の大きさにも配慮してほしい。

その他

【その他】

- マスコミの報道はネガティブな意見に偏っているのではないか。
- 説明会会場の選定に際しては、本来の用途での展示などを撤去してまで行うことがないように配慮してほしい。
- 特設電話応答窓口の時間帯や対応の内容などを周知するとともに、誰が対応しているのかを明確にしてほしい。
- その他（質問や問い合わせ）。



ご意見の整理方法

■ 皆さまの関心事に着目して整理しています。

寄せられたご意見は、主張や要望の理由となっている皆さまの関心事に着目して整理しています。皆さまにとってどのような意味や問題があるとお考えなのかという観点で捉えることにより、何が取り組むべき課題となっているかが見えやすくなります。

こうして整理した内容を意見要旨としてとりまとめていきます。

■ 少数意見もしっかり捉えています。

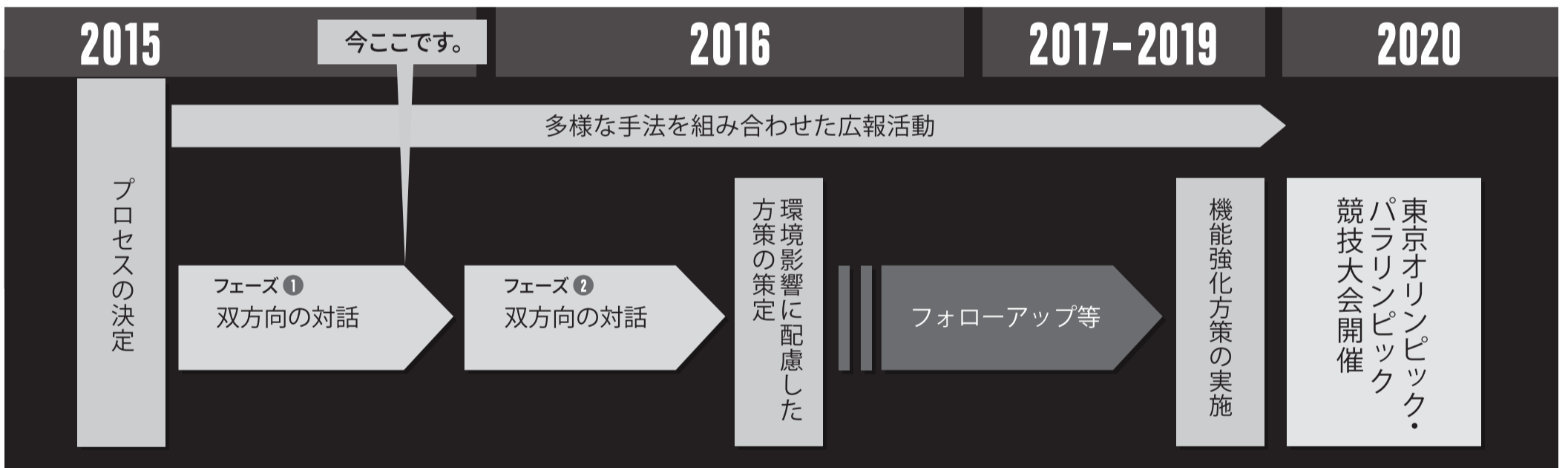
また、少数意見であっても、配慮すべき関心事にはしっかり着目する必要があります。このため、意見数の多寡にとらわれず整理しております。

示された課題への具体的な対策は、次のステップで検討していきます。

順序立てて確認しながら進めるので、検討の状況が分かりやすいわ

今後の双方向の対話（フェーズ2）では、これまでにいただいたご意見から明らかになった様々な課題に取り組んでいくこととされております。

具体的には、更に議論を深めるために必要な情報提供を行うとともに、課題に対応するための方策や飛行経路の運用方法の工夫等の方向性が提示される予定です。国土交通省では、今後フェーズ2でお伺いする住民の皆さまからのご意見も踏まえ、平成28年夏までに、環境影響に配慮した方策を策定することを予定しています。



フェーズ 1 [必要性や実現方策等]
国際線増便の必要性や実現方策等について情報を提供。皆さまの声から課題を整理し共有します。

フェーズ 2 [対策や運用方法等]
環境対策、新飛行経路の運用方法等、皆さまのご意見を伺いながら、環境影響に配慮した方策を策定します。

■ ホームページから

<http://www.mlit.go.jp/koku/haneda/>

羽田空港のこれから 検索



ご意見フォームから直接投稿できます。



■ 説明会で

フェーズ2で実施する説明会については、決まり次第国土交通省ホームページ等でお知らせします。



■ 電話でのご意見は Tel 0570-001-160

(IP 電話からは、03-5908-2420)

『国土交通省「羽田空港のこれから」に関するご意見窓口』
受付時間：平日 9:30 ~ 18:00

